

岐阜県鉱工業指数 (平成21年9月分)

生産指数 前月比1.4%の上昇

1 概況

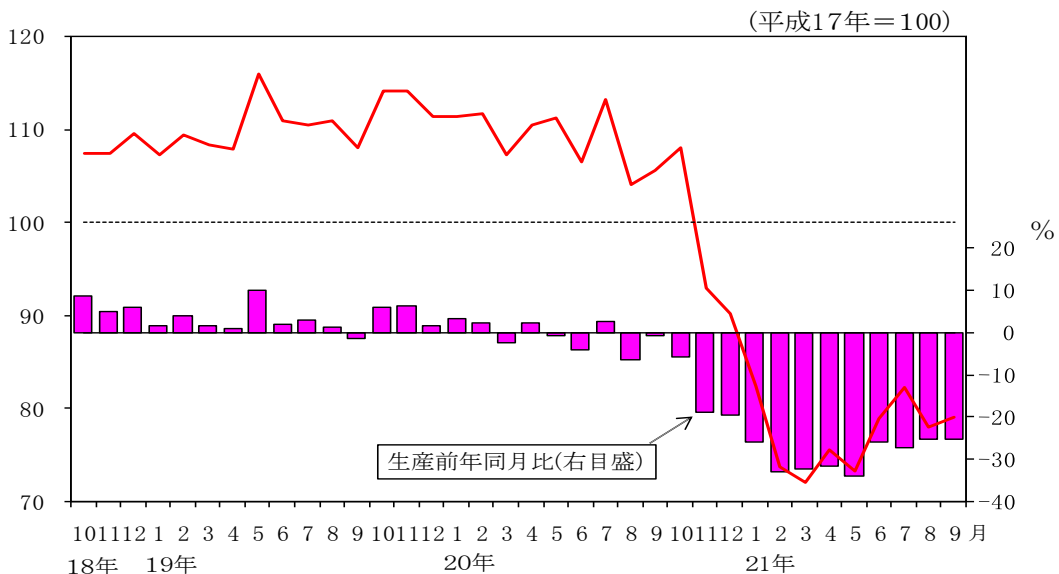
平成21年9月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数で見ると、情報通信機械工業等が低下したものの、輸送機械工業、金属製品工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は1.4%増と上昇に転じた。また、出荷指数は0.9%増、在庫指数は3.1%増と、ともに上昇に転じた。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は25.1%減となり、14カ月連続で前年を下回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	79.1	1.4	82.5	△ 25.1
出荷	78.8	0.9	81.8	△ 27.5
在庫	110.0	3.1	107.4	△ 2.6

鉱工業指数(生産)推移



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数…季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数…調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、軽金属板製品（産業用品）、橋りょう等が減少したものの、ボルト・ナット、スチール又はステンレスシャッター等が増加したため、9.0%増と上昇に転じた。また、出荷も10.0%増と上昇に転じ、在庫は1.0%減と低下に転じた。

機械工業の生産は、携帯電話、自動改札機・自動入場機等が減少したものの、乗用車ボデー、電子回路基板等が増加したため、1.7%増と4カ月連続で上昇した。また、出荷は0.4%減と4カ月ぶりに低下し、在庫は9.4%増と6カ月ぶりに上昇した。

窯業・土石製品工業の生産は、護岸用コンクリートブロック、触媒担体・セラミックフィルタ等が減少したものの、タイル（陶磁器製タイル）、石工品等が増加したため、0.6%増と4カ月連続で上昇した。また、出荷は2.8%増と前月に引き続き上昇し、在庫は横ばいであった。

化学工業の生産は、触媒（自動車排気ガス浄化用）、無水酢酸等が増加したため、2.6%増と上昇に転じた。また、出荷は1.3%増、在庫は3.6%増と、ともに上昇に転じた。

プラスチック製品工業の生産は、発泡プラスチック製品、プラスチック製継手等が減少したものの、プラスチック製容器、プラスチック製フィルム等が増加したため、1.3%増と上昇に転じた。また、出荷も0.2%増と上昇に転じ、在庫は2.6%増と3カ月連続で上昇した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	90.6	9.0	△ 18.7	91.4	10.0	△ 15.3	70.3	△ 1.0	△ 26.8
機械工業	72.7	1.7	△ 37.5	73.6	△ 0.4	△ 39.4	125.0	9.4	△ 14.1
一般機械工業	53.8	5.9	△ 50.8	59.8	1.4	△ 50.6	-	-	-
電子部品・デバイス工業	85.5	5.0	△ 31.8	87.4	5.7	△ 31.5	-	-	-
輸送機械工業	96.0	17.5	△ 34.0	89.2	16.3	△ 34.0	-	-	-
窯業・土石製品工業	69.9	0.6	△ 15.4	70.0	2.8	△ 16.2	89.9	0.0	△ 23.7
化学工業	85.5	2.6	△ 16.6	85.3	1.3	△ 17.7	108.4	3.6	6.8
プラスチック製品工業	94.8	1.3	△ 9.5	98.8	0.2	△ 10.4	85.4	2.6	△ 13.7

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

